



朝日 将貴 議員
無会派

問 本市の豪雨対策を問う

答 冠水頻度を減らす対策を検討



▲ 9月20日の豪雨による市内道路冠水の状況

問 9月20日台風16号による本市の被害状況は。
答 開発部長 床下・床上浸水はなく、道路の一部冠水12箇所。
排水機と排水路の能力を超えた時間60mmの豪雨。

問 排水溝の浚渫工事は、急を要するところから、優先度をつけて随時行つべきと考えるが。
答 土木課長 限られた財源の中で、優先順位を決めて実行しているが、今後住民との協力で柔軟に対応したい。

問 毎回同じところが冠水している。長期的な計画を立て、根本から解決していく必要がある。市長の見解は。
答 市長 排水機の維持更新・排水路の調査を行つていく。まず来年度は鯛浦町上六・下六を現況調査し抜本的に見直す。

問 時間雨量40mm、一日総雨量150mmを危険雨量として認識いただきたい。
問 豪雨対策として、市のホームページで現在の状況確認ができる体制を整えるべきではないか。
答 市長 オアシス的な提案は、以前に4市2町1村に対し県から示されている。まず県での協議結果に対し、何が協力できるか具体的に考えていく。

問	地方創生事業を問う
答	官民共同・地域連携が鍵

問 地方創生とは何か。改めて市の見解は。
答 総務部長 地方創生は各自自治体が、それぞれの

問 地方創生とは何か。改めて市の見解は。
答 総務部長 地方創生は各自自治体が、それぞれの

問 各部署にまたがる提案である場合、地方創生担当課はその案に対応する体制が現状整っているか。
答 総務部長 今後各事業課と連携し、秘書企画課で行っていく。

【その他の質問】